

「微地形強調図とタブレット型 GIS を用いた落石調査手法」が 2019 年度土木情報学システム開発賞を受賞しました。

(株)ウエスコと岡山大学が共同で開発を進めておりました「微地形強調図とタブレット型 GIS を用いた落石調査手法」が、土木学会土木情報学委員会において 2019 年度土木情報学システム開発賞に選出され、9 月 26 日の土木情報学シンポジウム会場（土木学会本部）にて表彰式が執り行われました。

この研究は、落石調査の効率化や調査対象の見落とし見逃し防止を目的に、航空レーザ測量データから作成される微地形強調図とタブレット型 GIS ((株)あっとクリエーション社製カンタンマップ) を用いた調査手法を開発したものです。地形の詳細な凹凸を表現した微地形強調図から落石発生源を机上抽出し、タブレット端末が示す自己位置座標を参考にした現地調査の有効性を確認し、タブレット型 GIS に落石調査データを蓄積することによる後続作業の効率化や落石発生源の位置再現の実用性について検証しています。

【土木情報学システム開発賞】

「微地形強調図とタブレット型 GIS を用いた落石調査手法」

(土木学会論文集 F3 (土木情報学) Vol.74(2018)No.2 に関連論文掲載)

吉川 慶 (株式会社ウエスコ)

宮下征士 (株式会社ウエスコ)

濱田展寿 (株式会社ウエスコ)

崎田晃基 (岡山大学)

西山 哲 (岡山大学)

